

多文化共生



- ①②日本語教室で勉強する実習生
- ③地元のお祭りにも参加
- ④ヤンさん
- ⑤ウラジミールさん

淡路市では、2021(令和3)年4月30日現在、395名の外国籍の方が生活をされています。

技能実習生として、2年前に淡路市に来たヤンさんとウラジミールさんに淡路市のことやコロナ禍での過ごし方などをお聞きしました。

「淡路の海が好きです。近くの砂浜によく行きます。」「山も好き。休みの日はランニングをします。」「淡路の人はやさしい。仲良くしてくれます。」「近所の人たちがあいさつをしてくれます。ゆっくりお話もしてみたい。」「コロナ禍で旅行に行けないのが残念。インターネットの

動画を見て過ごすことが多いです。」「大事な情報は、職場が提供してくれます。」「家族とはスカイプ(Skype(電話やテレビ電話ができるソフトウェア))で話をします。友達と会えないのがさみしい。」「コロナが収束したらディズニーランドに行きたい。」など、たくさんお話をしてくれました。

日本語をよく勉強していて、通訳なしでお話を聞くことができました。また、コロナ禍での過ごし方やコロナが収束したらやりたいことなどみんなの願いは同じだと思いました。

人権標語 (2020 人権尊重標語入選作品からコロナ関連の標語を紹介します。)

2020 人権標語
(小学校高学年)

ディスタンス はなれとっても 友達や

一宮小学校
粟田 敬斗

2020 人権標語
(小学校低学年)

コロナでも 心のきよりは 密OK!!

津名東小学校
佐古 海里

淡路市人権教育研究協議会 定期総会は書面表決

本年4月25日から、緊急事

態宣言が発令され、市や関係団体の催事が中止・延期されました。

◆新役員紹介

会長

山添

山添 繁(二宮支部長)

副会長

上原

上原 孝(津名支部長)

織田

織田 裕行(東浦支部長)

栗山

栗山 靖(岩屋支部長)

坂恵

坂恵 正和(北淡支部長)

◆教育実践活動の重点目標

昨年度の収支決算や新役員の承認、活動方針や事業計画、予算案などの議案について、代議員の方々に賛否の表決書を提出いただきました。

書面表決は、すべての議案について、過半数の賛成をもって可決されました。

今年度も「じんけん市民

講座」、「人権を考える集い」、市内の集会所等を利用した「住民学習支援事業」は、手指消毒や3密を避けるなどの感染防止対策をして実施する予定です。

Ⅱ 地域コミュニティや各種団体の特性を生かした主体的な活動を支援するとともに、人権のまちづくりを進める。

創造をめざす実践の交流を図る。

淡路地区 人権教育研究協議会総会

5月29日に洲本市文化体育館会議室で淡路地区人権教育研究協議会総会を、昨年に引き続きビデオ会議システム「Zoom」を使用して開催しました。

約51名の方々にオンライン参加していただきました。記念講演は、にじいろアイRuの田中一步さんと近藤孝子さんに来島いただき、性の多様性についてお話をいただきました。



記念講演「性の多様性」について話す
近藤孝子さん

コロナ禍と「エンパシー」

淡路市人権教育研究協議会

会長 山添 繁

イソップ童話に「ライオンを見たことのないキツネ」という話があります。キツネは初めてライオンを見た時は死ぬほどびっくりしましたが、次に出くわした時は怖かったけれども、初回ほどではありませんでした。そして、三度目に見た時はわざわざライオンに近寄って、話しかけるくらい平気になりました。

このキツネはコロナ禍の私たち自身ではないでしょうか。コロナ

ワクチンが行き渡り、終息するまでの道のりは決して平坦ではありません。しっかり感染対策を講じながら、コロナ差別を許さず、みんなが日常を取り戻すまで頑張りたいたいものです。英語の「エンパシー」という言葉には、自分がその人の立場に立ち、気持ちや価値観を想像する「能力」という意味があります。困難な立場や同じ意見の人に思いを寄せる「感情」を指す「シンパシー」より、「エンパ

シー」は身に付ければ、幅広く他人を受け入れられる力となります。コロナ禍で問われているのは、「エンパシー」ではないでしょうか。「ジェンダーギャップ」(社会的性差)指数は、世界の156か国の中で120

位、2020年の自殺者数は増加(とりわけ若年女性数)、子どもの貧困率は7人に1人、ヤングケアラー(介護を担う子ども)の顕在化など、枚挙にいとまがないほど、私たちが解決すべき人権課題が山積しています。

人権を他人事ではなく、自分事と考えることができるためには、ソーシャルインクルージョン(社会包摂)の社会で生きていく、支え支えられていると、一人ひとりが実感できることが可能になると思います。淡路市人権教育研究協議会は、生きにくさを抱えていても、声を上げにくい人々の心に寄り添いながら、関係機関と連携し、安全で安心なまちづくりにつなげていきたいと考えています。

じんけん講座のご案内

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、
中止・延期になる可能性があります。

淡路市人権教育研究協議会では、「2021 淡路市じんけん市民講座」を開催します。相手を尊重できる人権感覚は、地域・家庭・職場で互いを信頼し合える関係であるために一番大切な学習といえます。多様な人々と出会い「多様性を尊重できるまちづくり」をめざします。参加の方は、下記へご連絡いただきますようお願いいたします。

◆じんけん市民講座「なるほど人権課題探究コース」

開催日	実施場所・開催時刻	テーマ・学習内容	講師
9月3日(金)	淡路市役所 2号館3階 大会議室 14時～16時	新型コロナウイルス感染症と人権 ～同和問題との関連で考える～	三木市人権・同和教育協議会 春川 正信さん
10月7日(木)		LGBT	佐倉ジェンダー研究所 佐倉 智美さん
11月16日(火)		アフリカで学んだ 『いのち』を輝かせる方法	助産院いのち輝かせ屋代表 国際助産師 小川 圭子さん
2022(令和4)年 1月18日(火)		多文化共生社会をめざして ～私の中の台湾と日本～	兵庫県人権教育研究協議会 事務局 後藤 みなみさん
2月16日(水)		障害者差別解消法	西宮市社会福祉協議会 常務理事 清水 明彦さん

◆「淡路市人権を考える集い」記念講演

開催日	実施場所	テーマ	講師
12月4日(土)	サンシャイン ホール	「パパは女子高生だった!」 ～自分らしく生きること～	Like myself 代表 前田 良さん

◆女性のためのチャレンジ相談

開催日	実施場所・開催時刻	内容	講師	
8月18日(水)	淡路市役所 (予約者が1名の場合 はオンライン相談の 可能性もあります。)	再就職、起業など、何かにチャ レンジしたい女性のための相談 ■申込・お問い合わせ 淡路市 市民生活部 市民人権課 電話 0799-64-2567 FAX 0799-64-2528 eメール awaji_shimin@city.awaji.lg.jp	キャリアコンサルタント 森本 紀子さん (実施日の3日前まで申込可)	
10月20日(水)				① 13:30～
12月15日(水)				② 14:30～
2022(令和4)年 2月16日(水)				③ 15:30～

▽▼お知らせ▲▲

市民人権課 人権推進係は、
「本庁2号館1階」から
「本庁1号館2階」に
移動しました。

■詳しくはこちらへお問い合わせください。

淡路市 市民生活部 市民人権課 人権推進係
〒656-2292 淡路市生穂新島8番地
電話 0799-64-2521
F A X 0799-64-2565
eメール awaji_jinken@city.awaji.lg.jp

淡路市に 引っ越してきました

3

田中監督（後列右）と選手



女子硬式野球クラブチーム

淡路BRAVE OCEANS

田中 朋子さん（和歌山県出身）

私は5年前に淡路島を拠点に活動していた女子プロ野球チーム「兵庫デイオーネ」の選手として在籍していました。女子プロ野球選手を引退した後、2020年2月に淡路市地域おこし協力隊として再び淡路島に集中できる環境や周囲の方々の熱い応援やご支援をいただき、地域に密着したチームだったと印象に残っ

ています。たくさんの方にお世話になり、大好きな野球を伸び伸びとできたこの環境で、もう一度女子野球で淡路島に恩返ししたいと思いつてきました。そして昨年、女子硬式野球クラブチーム「淡路BRAVE OCEANS」を創設しました。コロナ禍で上手くいかないこともたくさんありまし

たが、今年は公式戦に登録できる選手の人数が揃いました。まだまだ男性と違い女子野球の認知度は低いです。その中で野球と社会人の両立をめざし、淡路市の地元企業で働きながら好きな野球を続けている選手が6名います。両立しながらもスポーツで女性が活躍できる環境を淡路島に創りたいと思っています。

チームとしての目標は、クラブチームナンバーワンになること、子どもたちに憧れられる存在になること、地元で愛されるチームになることです。

女の子が諦めない環境も創っていききたいと思っています。

女子野球を通じて淡路島の皆さんに元気になつてもらえるように頑張ります。これからも淡路BRAVE OCEANSを宜しくお願いいたします。

2021 人権教育住民学習支援事業をご利用ください！

人権をテーマにした学習会を支援します。

淡路市人権教育研究協議会では「一人ひとりの人権が尊重され、自分らしく活き活きと暮らせる地域社会づくり」を目的に、市民が主体となって実施する人権学習活動を支援しています。

団体の総会やグループの会合、集会などいろいろな機会にご利用ください。

◆活動助成金の額

- ①講師謝金：実質支払額の1/2 上限1万円
- ②飲物代 1人当たり150円 上限2万円
- その他事務経費1000円、会場借上料など

◆対象

各種団体（町内会・PTA・老人クラブ・社協のサロン・有志のグループ）など

人権啓発DVDのご紹介



外国人と人権

違いを認め、共に生きる

外国人に関する人権問題をドラマや解説で明らかにし、多様性を認め、人が人を大切にする人権尊重の社会をつくりあげるために何ができるかを考えます。

DVD上映の申込等、住民学習支援事業については下記にお問合せください。

■申込・お問い合わせ

淡路市 市民生活部 市民人権課 人権推進係
電話 0799-64-2521
FAX 0799-64-2565
eメール awaji_jinken@city.awaji.lg.jp

うちの学校



岩屋中学校は、淡路島の北端に位置します。明石海峡に臨む白砂青松の海岸である松帆の浦は、古来より景勝地として「万葉集」をはじめ多くの歌にも詠まれています。

本校では、「礼を尽くし、時を守り、場を清める人間でありたい」をスローガンとして、全校的に挨拶、時間を意識した行動、清掃活動を推進しています。

挨拶は、生徒会を中心に毎日の始業前に校門前に立ち「あいさつ運動」を欠かさず行っています。



そして、最も力を入れているのが清掃活動です。現在の校舎は平成5年に公立学校優良施設表彰事業で文部大臣表彰を受けています。木材をふんだんに使ったあたたかみのある造りになっており、完成当時からデザイン的な評価も高く、美術の教科書に掲載されるほどです。この美しい校舎をいつまでも！と受け継がれてきた活動の一つが床の雑巾がけです。冬の季節には厳しい活動ですが、本校の伝統として、自然に取り組みているところが自慢の一つです。約40mの廊下を毎日丁寧に雑巾がけしています。



また、前庭はいつも花が咲きほこり心落ち着かせる素晴らしい学び舎となっております。以前、校舎の設計に関わった方が、学生とともに来校され、「きれいに使っていただいてありがとうございます」との一言をいただきました。地道な活動でも継続的に行うことの大切さを感じました。この伝統が引き継がれていくことで、岩屋中学校の歴史に深みが増すものだと感じています。

ぼわん 手話 !!

第52回

手話は、ろうあ者が日常生活しているコミュニケーションの方法です。このコーナーでは、手話や、ろうあ者の生活等を紹介いたします。



両手掌を手前に向け、斜めに立てて並べて置き、軽く前へ2回出す。

ろうあ者の日常生活を知ろう!!

淡路ふくろうの郷は、洲本市中川原町にある聴覚障害者に配慮した特別養護老人ホームです。兵庫の聴覚障害者と関係団体、仲間の力によって2006年に建設されました。全国的にも数少ない、聴覚障害者に配慮のある施設です。

ろうあ者・難聴者・盲ろう者の方々の、人としての尊厳、情報保障、コミュニケーション保障、人権を大切にしています。また、聞こえる人も入居されており、誰もが安心してゆたかな暮らしを送れるよう取り組んでいます。

協力：淡路聴覚障害者協会 手話サークル津名

皆さんのおたより

表紙 SDGs だれ一人取り残さない

◇最近TVでも「SDGs」を聞くことがある。聞くだけで言葉の意味を理解できていなかったが、表紙の1～17のマークになっているのを見て、文章を読むと分かりやすく頭に入ってきた。世界中の人々が平等にそして、地球のことや周りの人のことを考えて行動すれば、もしかしたら可能なのかもしれない。思いやりを大切にしてお過ごししていきたい。(30代)

◇SDGsについて、改めて考えてみました。言葉の意味はわかるものの、実際、具体的に自分で何に取り組むことができるのだろうか。大きな事はできませんが、まずは買い物の仕方を見直すところからはじめてみたいと思います。(50代)

文集こころ 第16集から

◇文集こころ「with コロナに生きる私たち」まさしく私が思っていた事と同じでした。他人事に感じていた事を反省せねば。うわさにまどわされないようにしなければ。彼女の様な人が増えれば世の中もっと過ごしやすくなるはず。エライ！(60代)

◇今回、掲載されていた淡路市人権文集「こころ」を拝読して、すばらしいと感じたし、こんな時だからこそ、人と人との絆と温もりの大切さをつくづく考えさせられました。その他に、人権標語も、みなさん上手にコロナ禍との組み合わせで考えていて、よくできていると感心させられました。来月も楽しみにしています。(40代)

淡路市に引っ越してきました

◇淡路市に引っ越して来られた大村太一さん、すごいですね。緑肥のみの肥料で育てるお米一度食べてみたいです。体にとっても良さそう。味も違うのでしょうか。(70代)

うちの学校紹介します！

◇うちの学校紹介を拝見して、すごくいい学校ですね。アンケート調査、子供の意見、子供は正直ですがこんないい学校他にないですね。なかよし班いいですね。今は兄弟が少ないから兄ちゃんや姉ちゃんが遊んでくれて、先生も遊んでくれていいですね。すごいが、いっぱいつまっている石屋小学校最高。勉強もがんばってください。心はひとつ 石屋小学校。(70代)

くらしのトピックス⑳

◇孫が小学校を卒業します！「高齢化・過疎化とつきあう!!」の記事の内容はショックですね。コロナ禍の今、よりいっそう不安が増します。パソナ本社移転が起爆剤になってくれればと思います。私達住民も何かと協力していかないと、と思うのですが。(60代)

わんぼいんと手話!!

◇わんぼいんと手話。子供が興味を持っているので私も一緒に読んで覚えています。先月は何だったかな…なかなか覚え続けるのが難しい年齢ですが、コツコツと頑張っていきたいと思います。(40代)

コラム人権の眼

◇「ふれあいサロンといきいき100歳体操」を読んで、もちろん体操、身体を動かす事はとても大事!! 同じく口を動かす事もみんなとおしゃべりのひとときが楽しみなのに、コロナで中止。早くふつうの日常が戻ってきますようにと願っています。紙上の内容が豊かで楽しく読ませて頂いています。(70代)

クロスワードクイズ

◇クロスワードが大きくなって、年輩者には見やすく、優しい気持ちが出来てきました。(60代)



コラム **人権の眼** No.62

「ネット社会の人権」

淡路市 市民生活部 市民人権課
人権教育指導員

原中 清博

リモートワークやネットショッピングが当たり前となるなど、社会や家庭のネット依存はますます加速しています。電話によると、昨年度のテレビ・新聞・雑誌・ラジオを合わせた広告費は前年度比15%減でしたが、ネット広告費は6%増で金額も今年度中に逆転する見通しです。既に企業はネットのほうに影響力が大きいと判断しています。

また、総務庁の家計状況調査によれば、単身世帯以外のネットショッピング利用率も今年3月に50%を超えました。これまで生活のごく一部であったネット利用は、今やあらゆる面で欠かせない存在となっています。子どもたちはこの傾向がさらに顕著です。学校よりもSNSでつながる時間が長い友人関係も多くなっています。また、ネットゲームでチームを組んで敵を倒す爽快感と一体感は、現実世界以上に感じるように考えて作られています。時にはゲーム内で思わず漏らし、一言がトラブルとなり、SNSにより身近な人々を巻き込んでしまう事も起こっています。

今や、人との関わりはネット上と現実世界が同等以上になろうとしています。そして、その中で重大な人権侵害事案が起きています。仲間内での冗談であっても、フェイクニュースとして拡散されて訂正も削除もできなくなるのがネット社会の特性です。私たちは、これまで以上に人権感覚を研ぎ澄ませなければなりません。淡路市でも、ネット上での人権侵害防止を目的として、インターネットモニタリング事業を始め、ネット上で淡路市に関わる書き込みを監視し、問題があれば削除要請を行うなどの対応策を講じています。今後、現実世界と合わせて、ネット上でも人権尊重の精神が伸展されるように努力してまいります。

くらしのトピックス(24)

淡路市社会福祉協議会

高齢化・過疎化とつきあう!! ②

世界一高齢化率が高い国が日本だとご存じですか？総務省の比較によると、2018年の日本の高齢化率は28.1%。第2位のイタリアが23.3%、第10位のフランスが20.1%ですから、世界的に見ても日本の高齢化率が高いことが分かります。ちなみに2045年の高齢化率は39.1%と推計されており、高齢化の速度も世界最速です。

先日、ある地域の「黄色い旗運動」について聞く機会がありました。地域ぐるみでお互いの安否を気遣い合うために、黄色い旗を玄関先に立てかける活動です。防犯上の問題など、活動への賛否もあるようですが、お互いを見守りあおうという活動が成熟すると、そこで暮らす人の安心・安全が生まれる気がします。

●●全国一斉「子どもの人権110番」強化週間●●

「いじめ」、体罰、児童虐待など、

子どもをめぐる様々な人権問題について、電話相談をお受けします。

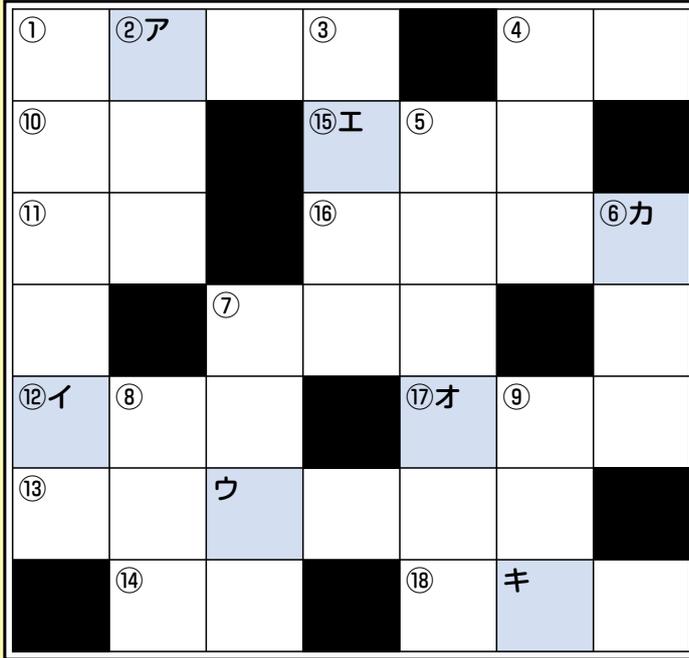
■日 時 令和3年8月27日(金)～9月2日(木)
午前8時30分から午後7時まで
(土曜日、日曜日は午前10時から午後5時まで)

■電話番号 0120-007-110 (全国共通・無料)

●編集後記●

海外から実習にこられた方に取材をするとき、「人権」をやさしい日本語でどう説明するのか迷い「みんなを大切にする」と言ったのですが伝わったかなあ？(S)

クロスワードクイズ



★7文字 (ア～キ) のできる言葉が答えです。

ヒント→ 無作為抽出で 3000 人の方に
協力をお願いします。

《タテのカギ》

- ① 2021年7月23日は
東京2020オリンピックの？
- ② 東北の秋の風物詩。河原で○○○会。
- ③ 金メダルの人は？
- ④ 介抱し、お世話をすること。
- ⑤ 天気がどう変化するか予測し、知らせること。
- ⑥ 体を打つこと。打撲ともいう。
- ⑦ 無欠勤、無欠席のことを？
- ⑧ カンニングペーパーを略して？
- ⑨ 犯人を発見・特定するために証拠を収集すること。

《ヨコのカギ》

- ① 海の向こうの国。○○○○旅行。
- ④ あえて言おう！○○であると！
- ⑦ 外気を取り入れて内部の空気を排出すること。
- ⑩ 植物の根などが肥大化して養分を蓄えた部分。
- ⑪ 十脚目短尾科目に属する甲殻類の総称。
- ⑫ 番組や結婚式などイベントの進行を司ること。
- ⑬ 大阪・京都・兵庫・奈良・三重・滋賀・和歌山を指すことが多い
- ⑭ ○○は剣よりも強し
- ⑮ 地中深いところを意味する語は？
- ⑯ ものの順番を表す数字のこと
- ⑰ 見るべき対象から目を逸らして他のものを見ること
- ⑱ 「兎」何と読む？

◆クイズの答え、住所・氏名・年齢(学年)とご意見・ご感想・イラストなどをハガキに書いてご応募ください。正解者の中から抽選で20名の方に図書カードをプレゼントします。

【あて先】〒656-2292 淡路市生穂新島8番地
淡路市 市民生活部 市民人権課内
まるごとじんけん第63号
クロスワードクイズ 係

【しめ切り】2021年8月2日(当日消印有効)

第62号の答え 「ソツギョウ(卒業)」

※当選者の発表は発送をもって代えさせていただきます。

人権についての市民意識調査ご協力をお願い

5年毎に実施しております市民人権意識調査を今年7月に実施します。人権についての市民の皆さまのご意見をお聞かせいただき、その調査結果は、多様な人権に配慮したまちづくりを進めるための「淡路市人権まちづくり基本計画」を見直す基礎資料として使用します。

無作為に抽出した 3000 人の淡路市民の方に調査票を郵送します。

調査へのご協力をお願いします。

■お問合せ 淡路市 市民生活部 市民人権課 人権推進係 電話 0799-64-2521

